

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果をもとに、各教科の課題や生活習慣の傾向をとりまとめたものです。「自ら学ぼうとする意欲」や「一人一人の確かな学び」を実現するために、学校と家庭、地域が一体となって教育活動や生活習慣の改善に取り組んでいきましょう。

令和4年度 水戸市の教科の学力状況（小学校） ※県の正答率は、整数値で公表

	国語	算数	理科	本校の総括
寿小学校	▲	▲	▲	国語では、条件付き作文に課題が見られる。また漢字の書き、文字の大きさや配列等の基礎基本が身に付けば県平均に近付く。 算数では、どの問題も平均正答率が低い傾向となっている。問題の文意を正しく読み取り、論理的に思考して自分の考えを表現する力に課題がある。 理科では、どの問題も平均正答率が低い傾向となっている。問題、結果、まとめを相互に関連付けて考える力に課題がある。
茨城県	65%	62%	64%	
全国	65.6%	63.2%	63.3%	

◎：県を上回っている    ○：県と同等程度    ▲：県を下回っている

【水戸市の各教科の調査結果から】

国 語

《成果》

- ・ 話し合い等において、必要なことを質問して、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心にとらえること。

《課題》

- ・ 全体の構成に着目して文章を整えたり、話し合い活動等において伝え合った感想を基に各自の文章のよいところを書いてまとめたりすること。

《改善方法》

- ・ 自分で書いた文章を読み返し、目的に照らし、適切な構成や記述になっているか、また、事実、感想、意見に区別して書かれているかなどの視点で再構成する活動を工夫する。

算 数

《成果》

- ・ 分類されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え、考察すること。

《課題》

- ・ 比例関係を基に、未知の数量の求め方と答え方を記述すること。
- ・ 回転や角の大きさに着目して、正三角形の構成の仕方について考察し、記述すること。

《改善方法》

- ・ 1つの方法で解決しても別な方法はないか考える活動や条件が変わっても成り立つか考える活動の充実を図る。

理 科

《成果》

- ・ 一定量の体積の液体を適切に測る実験器具について理解すること。

《課題》

- ・ 観察、実験などの方法を具体的に見通して解釈し、自分の考えを持ち、それを表現すること。

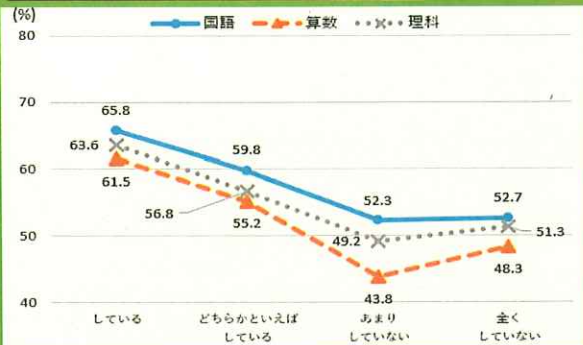
《改善方法》

- ・ 問題解決の過程において、問題の視点から実験を立案し、考察、まとめをする活動を充実させること。



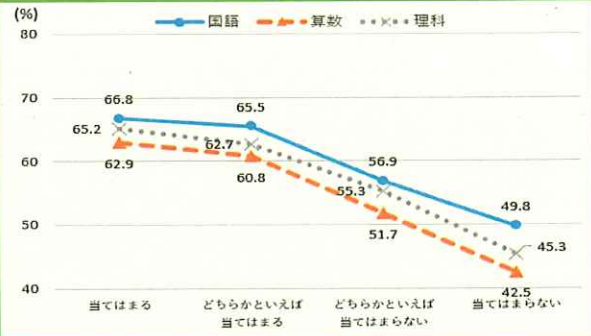
# 【水戸市の児童質問紙の回答結果と各教科の正答率との関係】

○ 朝食を毎日食べていますか。



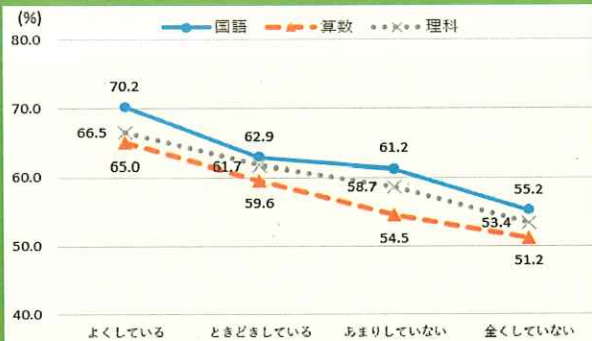
➡ 朝食を毎日食べている児童は、各教科とも正答率が高いことがわかります。

○ 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。



➡ 「決めたことをやり遂げる」と回答している児童は、各教科とも正答率が高いことがわかります。

○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)



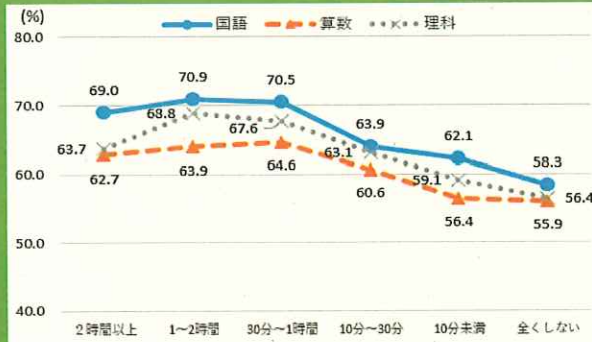
➡ 「家で計画的に勉強している」と回答している児童は、各教科とも正答率が高いことがわかります。

○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。



➡ 授業時間以外で勉強時間が「30分未満」の児童は、各教科とも正答率が低いことがわかります。

○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。



➡ 読書時間が「1～2時間」程度と回答している児童は、各教科とも正答率が高くなっています。

○ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか。



➡ ゲーム時間を「30分未満」に押さえられている児童は、各教科とも正答率が高いことがわかります。

これらのことから、規則正しい生活や学習の習慣を身に付けること、自分で学習する内容や計画を決め見通しをもって粘り強く取組むことが、「確かな学び」につながるということがわかります。

読書の時間やゲームの時間、家庭学習の時間等の適切な時間管理についても、この機会にお子様と話し合っただけ、子どもたちの生活習慣や学習習慣がより定着しますよう、御家庭においても、引き続き協力いただきますようお願いいたします。